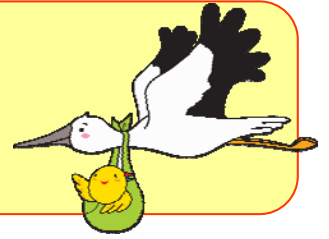


ひょうご

子ども未来通信 3月号

http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html



平成24年度 県予算案 少子対策・子育て支援を充実強化へ

県では、2月9日、一般会計総額2兆160億円となる平成24年度予算案を発表しました。少子対策・子育て支援に関する予算額は約798億円で、①第1子・第2子・第3子の出生に向けたきめ細かい子育て支援、②子ども・若者の仲間づくりと豊かな人間性の涵養、③出産で離職した女性の再就業を支援、④児童虐待防止対策の徹底の4つの柱に基づき取り組みを進めていきます。

また、県の予算案の発表にあわせ、24年度の少子対策・子育て支援の取組をまとめた「新ひょうご子ども未来プログラム2012」を同時発表しました。

同予算案は、現在開会中の第312回2月定例県議会での議決を経て成立となります。



平成24年度予算案を発表する井戸知事

24年度の少子対策・子育て支援施策の主な取組

(その他の主な事業については3pに掲載)

第1子

出会い結婚支援を推進

ひょうご出会いサポートセンター・地域出会いサポートセンター(10か所)で出会い結婚支援を展開
・出会いイベント・婚活セミナー、お見合い等を実施

予算 137,206千円

第2子

乳幼児子育て応援事業を充実

在宅児童とその親を対象に、子育ての悩み相談やしつけ教室等親の体験活動や児童の体験保育の機会を提供

- ・民間保育所:③341か所→④441か所
- ・私立幼稚園(2歳児):③191か所→④233か所
- ・私立幼稚園(0~1歳児):③22か所→④42か所

予算 690,976千円

第3子

多子世帯保育料軽減事業を拡充

多子世帯の子育てにかかる経済的負担を軽減するため、第3子以降が利用する場合の保育料の一部助成を拡充(対象世帯を拡大)

〈補助額〉

- 保護者負担 ③6,000円/月超→④5,000円/月超
- 3歳未満児 ③4,500円/月 →④5,500円/月限度に補助
- 3歳以上児 ③3,000円/月 →④4,000円/月限度に補助

予算 317,205千円

保育所・認定こども園等の整備

基盤整備

- ・保育所の新設・増改築等による定員増実施
 - ・④53か所(うち創設21)、定員2,500人増
- ・私立保育園による預かり保育の充実
 - ・④実施か所数:平日218か所、休業日6か所、長期休業日102か所
- ・保育所機能と幼稚園機能、地域の子育て支援機能をあわせもつ認定こども園の設置を推進
 - ・④4月・75か所→⑤4月・90か所

予算 4,730,939千円

新ひょうご子ども未来プラン プログラム2012の推進

～家庭・地域・職場で包む、安心と喜びの子育て支援～

平成22年の県の合計特殊出生率は、前国勢調査年である平成17年の1.25から0.16ポイント増加した1.41で、全国順位も38位から36位に上昇しています。また、平成23年の県の出生数は47,974人で前年比1.17%減となりました。全国との比較では前年同期比で国の1.66%減に対し本県は国の減少幅より少ない0.87%の減にとどまっています。しかし、今後も20~30歳代の女性人口の減少が続くため、少子対策・子育て支援の更なる充実・強化が求められます。

| 年度 | H17 | H22 | H23 | H23.1~11 | 前年同月比 |
|---------|-------------|-------------|---------|----------|--------|
| 出生数 | 47,951人 | 48,541人 | 47,974人 | 44,291人 | △0.87% |
| 全国 | 1,090,237人 | 1,102,050人 | — | 993,429人 | △1.66% |
| 合計特殊出生率 | 1.25(18.0%) | 1.41(18.6%) | — | — | — |
| 出生率 | 1.29 | 1.29 | — | — | — |

※03の全国出生率は2月下旬に出生発表

資料:兵庫県統計(出生数・人口)、国勢調査(出生数・人口)、国勢調査(出生数・人口)

県では引き続き、新プランの出生数目標24万人の達成に向け、「新ひょうご子ども未来プラン」の年度別行動プログラムを策定し、社会情勢の変化や新たな課題に対応した更なる取組を進めていきます。

「プログラム2012」では、特に下記の4点に重点を置き、少子対策・子育て支援に取り組んでいきます。

①第1子・第2子・第3子の出生に向けたきめ細かい子育て支援
第1子出生への支援として、出会い・結婚や若者の就業支援、第2子出生への支援として育児不安の解消や親の育児参加、第3子出生への支援として経済的負担の軽減を図るなど、それぞれの段階に対応したきめ細かい少子対策・子育て支援の取組を進めます。また、すべての子どもに対する子育て環境を整備するため、保育所、幼稚園、認定こども園等の充実を図ります。

②子ども・若者の仲間づくりと豊かな人間性の涵養
日本の高校生は海外と比較して自己肯定感が低い傾向があるとされており、また体験豊富な子どもは自立的な行動習慣が身につく傾向にあることから、子どもの冒険心や若者ゆうゆう広場等の更なる充実を図るとともに、道徳教育など豊かな人間性へ育む取組を進めます。

③出産で離職した女性の再就業を支援
県の30歳代以降の女性労働力率は全国と比べて低くなっており、就業を希望しながら実際に就業できない女性たちを対象に、ひょうご女性再就業応援プログラムを通じて、出産・育児などにより一度離職した人たちの再就業を支援します。

④児童虐待防止対策の徹底
増加する児童虐待に対し、地域団体と連携した見守り強化や市町相談体制の強化、こども家庭センターの体制の強化等を図ります。

詳細は以下 HP 参照
http://web.pref.hyogo.lg.jp/governor/documents/g_kaiken20120209_05.pdf

まちの子育てひろば・子どもの冒険ひろば・若者ゆうゆう広場 3ひろば交流会を開催

子育て3ひろばの関係者が集い、情報交換を行う交流会が、神戸市内で開催され、約140名が参加しました。

各ひろばの代表者によるパネルディスカッションでは、「ひろばが様々な機能を持つことで、お年寄りから子どもまで集うトータルな施設として常に賑わっている」「行政や地域に自分たちの活動をPRすることで、様々な分野の方からの応援が増えた」など、活発な意見が交わされました。

井戸知事からは、「地域ごとに課題や実施方法も違うが、子ども達を育てていくための環境整備という共通目的のため、それぞれの特色を活かして頑張っていたきたい」とエールを送りました。

(問) 県少子対策課 078-362-4185



ひょうご子育て応援賞(2/21) 先進的な取組を行う20団体・企業を表彰

県内各地で先進的な子育て支援活動を展開している団体・企業等を表彰する「ひょうご子育て応援賞」の表彰式が、神戸市内で開催されました。

井戸知事は「子どもが夢を持てる未来を構築していくことが大事。そのためにも地域ぐるみの子育て支援は不可欠」と、今後の活動の更なる広がり期待を込めました。



受賞団体

| | |
|-------------------------------|---------------------|
| (社)兵庫県看護協会 | (社)播磨教育センター |
| (財)兵庫県老人クラブ連合会 | 子どもの遊び場を考える会赤とんぼ |
| 兵庫県愛育連合会 | 日本ボーイスカウト兵庫連盟突撃第3団 |
| ママの働き方応援隊 | パニラシティ |
| 神戸市北区民生委員児童委員協議会主任児童委員部会 | にじっこクラブ |
| カラーくり人形劇団 | (社)篠山青年会議所 |
| まちづくりステーションきらめき | ひかみCAP |
| 親子ふれあいサークルスマイリー | 子育てファミリーサポートくらぶピッピー |
| 加西市北部子育て学習センター自主グループ mama なみめ | (株)JCLバイオアッセイ |
| 網干おやじ塾 | (株)オーシスマップ |

また、引き続き行われたセミナーには、子育てを応援するNPO、企業、行政関係者など140名が参加。

片山啓・片山キッズクリニック院長が「育児・しつけの役割は両親」「子どもの前で両親の悪口は言わない」等祖父母世代の孫育ての秘訣を披露したほか、地域で活動する団体等によるパネルディスカッションが行われました。



(問) 県少子対策課 078-362-4232

平成23年度 第2回 県・市町少子対策協議会議 県と市町が少子対策に関する情報を交換

県と市町の少子対策・子育て支援担当者が一堂に会し、取組施策の情報共有・意見交換を行う会議が開催され、県・市町の関係者約120名が出席しました。

県内5市町による先進的な少子対策の取組事例発表や、県関係課による24年度の施策説明が行われた後、分野別グループ討議を行い、県・市町の情報共有を図りました。



各市町の事例発表

| | |
|------|---|
| 丹波市 | 福祉法人を設置主体に、幼稚園と保育園を一体化した認定こども園を推進 |
| たつの市 | 母子健康推進員等が市保健師とともに乳児家庭全戸訪問事業、新生児訪問事業を実施 |
| 三田市 | 児童虐待防止対策として、体制整備や職員の資質向上に向けた取り組みを推進 |
| 佐用町 | 地域子育て創生事業を活用した独身男女の出会いイベントを実施 |
| 神戸市 | 地域におけるワークライフバランス推進のためのワークショップ形式のイベントを実施 |

(問) 県少子対策課 078-362-4183

24年度の少子対策・子育て支援関係の主な事業案 (関連1p)

| 事業 | 事業内容 | 予算 |
|-------------------------|--|-----------|
| ㊦ ひょうご女性再就業応援プログラムを展開 | 県立男女共同参画センターに「女性就業相談室」を開設。相談から再就職セミナーまで切れ目のない女性の再就業を支援 ・ママの働き方相談会の実施 ・キャリアアドバイザーの個別相談 ・女性向け再就業セミナーの実施 | 43,027千円 |
| 子ども・若者の仲間づくりの場の充実 | ・身近な地域の大人が子どもたちを見守り、安心して自由に遊べる場として「子どもの冒険ひろば」を拡充 ・㊦483か所(広域29か所)→㊦500か所(広域29か所) ・子ども・若者(主に中高生)が気軽に安心して立ち寄り、地域の大人が子ども・若者を見守る場所として、「若者ゆうゆう広場」を充実 ・㊦45か所→㊦60か所 | 36,274千円 |
| ㊦ ハイリスク家庭の早期発見とフォローの徹底 | ・助産師・看護師・養護教諭等に対して、妊産婦に対する相談技術の向上のための研修を実施し、ハイリスク妊産婦の早期発見、早期支援体制を構築 ・市町保健師への研修等を通じ乳幼児ハイリスク家庭を早期フォロー | 8,879千円 |
| ㊦ 児童虐待防止に向けた県・市町の体制整備強化 | ・各こども家庭センターに市町への指導助言を行うアドバイザー(5人)を配置 ・市町専門職員の増員 ・こども家庭センターの心理担当職員を増員(㊦7人→㊦11人) | 238,736千円 |
| ㊦ 県立こども発達支援センター(仮称)を新設 | 診断、診療、療育(リハビリ)、出張相談等により発達障害児の早期発見、支援体制を強化 ・県立清水が丘学園に併設、24年7月開設予定 | 20,643千円 |

「子ども・子育て新システムに関する基本制度とりまとめ」を公表(内閣府)

2015年度をめぐって「総合こども園」創設へ

内閣府の子ども・子育て新システム検討会議基本制度ワーキングチームは1月31日、幼稚園と保育所を一体化した総合こども園(仮称)の創設を柱とする子育て支援策の最終案を取りまとめました。関連法案を今国会に提出し、2013年度から順次実施を目指すこととしています。

幼保一体化の具体的な仕組み

| | |
|---------------------|--|
| 市町村新システム事業計画(仮称)の策定 | 市町村は、子ども・子育てに係る需要の見込み及び見込量の確保のための方策等を記載した事業計画を策定 |
| 総合こども園(仮称)の創設 | 学校教育・保育及び家庭における養育支援を一体的に提供する総合こども園(仮称)を創設 |
| こども園給付(仮称)の創設 | 学校教育・保育に係る給付を一体化し、指定を受けた総合こども園(仮称)、幼稚園、保育所等に給付 |
| 多様な保育事業の量的拡大 | 株式会社やNPO等も含めた多様な事業主体の保育事業への参入を促進 |

学生子育て支援ボランティア意見交換・発表会を開催

学生による子育て支援ボランティアの取組についての意見交換・発表会が、2月15日、神戸市内で開催され、学生や学識者、児童養護施設職員など約50名が参加しました。

伊藤篤神戸大学教授は講演で、「子育て支援ボランティアに参加することで学生は自己成長する。また施設職員もボランティアのマネジメントを通じ、神戸大学大学院 伊藤教授 仕事の質が向上する」とその効果を紹介。

また、学識者や施設職員等を交えてのワークショップでは、「施設とボランティアが十分コミュニケーションをとることで活動がより充実する」「継続的な取組につなげたい」など今後の活動につながる活発な意見が交わされました。



神戸大学大学院 伊藤教授



(問) 県少子対策課
078-362-4183

子育て応援「企業人」セミナー

経営的視点から見たワークライフバランスの考え方や、行政の取組などを紹介するセミナーを県内2か所で開催します。(経営者協会と共催)
(参加無料・定員各70名)

<姫路>

◇日時 3月7日(水) 13:30~16:00
◇場所 姫路商工会議所 新館2階201 研修室
(姫路市下寺町43)

<伊丹>

◇日時 3月19日(月) 13:00~15:30
◇場所 伊丹商工プラザ 6階マルチメディアホール
(伊丹市宮ノ前2-2-2)

◆申込 会社名、住所、氏名、電話番号、子育て応援協定締結の有無を明記のうえ下記まで
兵庫県少子対策課 Fax078-362-3011
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

新ひょうご子ども未来プラン推進協議会 公募委員(3名)を募集しています

県の少子対策・子育て支援の推進に向けた検討を行う「新ひょうご子ども未来プラン推進協議会」の委員を募集しています。

たくさんのご応募をお待ちしております。

<応募人員> 3名

<応募資格>

兵庫県内に居住する方、または通勤・通学している方で、少子対策・子育て支援に関して、広く関心を持ち、議論することができる方等

<応募方法>

氏名(ふりがな)、性別、職業、生年月日、住所、連絡先電話番号、興味分野・テーマ、略歴、自己PRを記入した応募用紙と次のテーマについてまとめた800字程度の作文(様式自由)を郵送、FAX又は電子メールで提出してください。なお、提出いただいたものはお返し出来ませんので、ご了承ください。

<応募作文テーマ>

自身の子育て・子育て支援活動を踏まえた今後の少子対策について

<締め切り> 平成24年3月14日(水)(必着)

<応募先・問合せ先>

兵庫県健康福祉部こども局少子対策課少子計画係
電話078-362-4183 FAX078-362-3011
E-mail: shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp
http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_000000012.html

県美「元気のぼりに絵を描こう！」

鯉のぼりの形をした布に、東日本大震災からの復興の願いを込めて、励ましの絵やメッセージを描く「元気のぼり」。世界的な彫刻家・新宮晋氏を講師に招き「元気のぼり」を制作します。制作された「元気のぼり」は、東北に送られ、4月に宮城県美術館屋外で展示される予定です。

- ◆日時 3月24日(土) 10:30~15:00
- ◆場所 兵庫県立美術館ギャラリー棟
- ◆費用 1人1000円(1グループ最大3,000円)
- ◆対象 子どもを中心とした家族又はグループ(1グループ3名以上)20組

※大人のみ参加可、子どものみ参加不可

- ◆問合せ 申込方法など、詳しくは下記までお問い合わせください。

「元気のぼりに絵を描こう！」係
TEL: 078-262-0908
eventx@artm.pref.hyogo.jp



★このひとキラリ★

地域で子育て支援活動に取り組んでいる方を紹介します!

地域に開かれた『みどり文庫』

まちの子育てひろば「みどり文庫」
加藤 加代子さん(三木市)

私は10年前から、自宅で文庫を開いています。絵本の魅力にはまり文庫をはじめました。本を買う資金を得るためにパンやケーキを焼いてきてくれるみなさんに寄付金という形で協力してもらっています。



文庫に集まったみなさん
(加藤さん:右から1人目)

お話し会をしたり、小さい赤ちゃんを連れてお母さんに、ゆっくりお茶を飲んでもらってその間にスタッフが抱っこしていたり、小学生がパンを食べながら本を選んだり・・・毎月第2、第4火曜の夕方にわいわい我が家に人が集まってきます。本だけではなく、一緒にパンを焼いたり、外で縄跳びをしたり、宿題を一緒にやったり、お母さん同士の井戸端会議の場所になったり・・・なんだか寺子屋のようです。

そんな文庫を少しでも長く続けていけたらいいなあと思っています。

※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「未来通信・配信希望」と送信ください。

兵庫県少子対策本部(健康福祉部こども局少子対策課)
shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

ひょうごの子育て支援情報は

ひょうご 子育て

検索

ひょうご子育て twitter

子育て情報やイベント情報をツイッターで随時発信しています。

<http://twitter.com/HyogoKosodate>

ひょうご子育て応援メールも 好評配信中です!

子育てに役立つ身近な情報をメールで配信しています。

regist@magazine.hyogokosodate.jp(QRコードからも読取可)に空メールを送付し登録してください。

